

介護実習V

担当教員 吉岡 久美、水上 幸代

配当年次 3年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 実習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

居宅介護、グループホーム等の実習を体験することにより、高齢者が住み慣れた住宅や地域の中で自己の能力を最大限に生かして、その人らしい生活が継続できるようにするための実践活動を学ぶ。

【授業の展開計画】

【実習の概要】

居宅介護、グループホーム等の実習を体験することで、高齢者や障がい者が住み慣れた住宅や地域の中でその人らしい生活が継続できるようにするための実践活動を学ぶ。

居宅生活を支援する介護福祉士の役割を学ぶ。

【実習内容】

1. 居宅、グループホーム等で介護を必要とする人の生活を把握し、介護ニーズにあった介護の提供を学ぶ。
2. 居宅、グループホーム等での利用者と家族、地域とのつながりを知り、関連するサービスの必要性を学ぶ。
3. 居宅生活を支援する医療・保健・福祉の連携について学び、介護福祉士の役割を理解する。

【履修上の注意事項】

介護実習Ⅳを修了していること

実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること。

実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと。

【評価方法】

施設指導者による評価 60% 実習担当教員による評価 30% 実習への総合的な積極性 10%

【テキスト】

新) 介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規

【参考文献】

本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等